未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント
[テーマＡ：メディカル・イノベーション推進人材の養成]

整理番号	Ａ－８

申請担当大学名 （連携大学名）	九州大学 （福岡大学、久留米大学、産業医科大学）計４大学
事業名	イノベーションを推進する国際的人材の育成 ～アジアの表玄関における４大学双方向性教育連携～
事業責任者	医学研究院　臨床医学部門　呼吸器内科分野　教授　中西　洋一

事業の概要

〈事業の概要〉

「メディカルイノベーションに強い志を有し、推進し、国際競争に勝ち抜く人材を育成すること」を本プロジェクトの目的とする。そのために以下の取り組み行う。

1）就学早期からの教育とステップアップする継続的教育：学部教育に医療イノベーション科目を設置、ARO での実習を実施。大学院にメディカルイノベーションコースを設置し。社会人向けに、インテンシブコースを併設。

2）全工程を完備した教育プログラムと教育体制：産学官全領域においてメディカルイノベーションを担う専門家の教育参加。

3）福岡県内４大学の大学間双方向性連携体制の下に教育連携体制を充実。

4）国際的視野を有する人材の育成：熾烈な競争の中で研究開発を勝ち抜く国際的視野を有する人材を育成するための外国人による英語での講義と実習、海外研究者によるセミナーの開催。

5）実戦的かつ効率的な実習：各大学の ARO や治験センターにおける大学間交流実習の導入。

推進委員会からの主なコメント　　○：優れた点等、●：改善を要する点等

○メディカル・イノベーション人材養成のための課題と解決に向けた事業の目的が明確に示されている。

○国際性豊かな医療イノベーションを推進する人材を養成するための一貫した教育プログラムが形成されている点で、効果が大いに期待する。

○それぞれ特色のある大学間の連携による人材育成で、各大学も近接しており効果が期待できる。

○全体的に実施計画全体が緻密で具体的であるという点で優れている。

●４大学で連携をし、各々の個性と強みを活かした相乗効果体制は優れているが、大学間の教育水準の調整にはフォローが必要と考える。

●教育対象が、４大学で医学部２－5 年次生、大学院生、研修医や、医学研究科、薬学研究科、スポーツ健康科学研究科、または、スポーツ健康運動指導士などと一貫しておらず、大学での連携に不整合性が見受けられることから、共同事業としての事業の実施、達成状況等の進捗管理が求められる。

●インテンシブコースは全体的に受講者にとってかなりの過重負担ではないかと思われるため、効率良い研修制度に練り直す必要があるのではないか。

留意事項

●「医療イノベーションインテンシブコース」の修了要件・履修方法について、必修科目は必ず履修する科目であることから、「必修科目２単位以上を履修し」という記載は不適切であるため、適切な修正を行うこと。